

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

事業所名：医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の理念をつくりあげている。 理念・・・入居者さまが近隣の方々とのおふれあいを持ち、いつもにこやかに個性豊かに過ごして頂く。	○	近隣の方々と顔見知りとなり、その人がその人らしく暮らしていけるような支援をしていく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、各自ネームの裏に理念と目標を記入している。	○	今後も今まで通り、個々ネーム裏に記入し、確認しながら、サービス支援に取り組んでいく。 管理者と職員は、理念を共有している。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念を入居者さまに書いて頂き、1F入口に掲示している。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホーム周辺等、散歩時、行き合うと挨拶を交わしたり、話をする。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	春日居町の行事には参加している。 ボランティアさん依頼(民謡鑑賞会)、三味線、尺八、合唱、腹話術等楽しんでいる。 中学生、職場体験の受け入れ、ホーム周辺のゴミ拾い散歩を金行っている。	○	今後も町の行事及びボランティアさんへの依頼を続けていく。 ホーム周辺のゴミ拾い(散歩コース)をつづけていく。

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の高齢者とは、挨拶程度で、あまりかかわっていないが、何か役に立てることがあるのではないかを時々話し合っている。	
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価表は、事務所前に掲示し職員、家族等がいつでも診ることが出来る様にしている。	○ 報告書を参考に改善すべき所は、改善に取り組んでいる。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域、地区代表者、家族、市職員からの評価、要望、助言等を頂き、サービス向上に努めている。	○ 今後も助言等を頂き、サービスの質、向上に努めていきたい。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市、連絡協議会等に出席し、現状の把握をし、市職員、他施設の方々との情報交換を行い、顔みしりに努めている。	○ 現状の把握、情報交換をしながらサービスの質の向上に取り組んでいく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市の研修会に出席し学んでいる。	○ 今後も学ぶ機会があれば参加していく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフは虐待の防止に努めている。	○ 学ぶ機会があれば研修に参加する。

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者、ホーム長が十分な説明を行い、理解、納得を得ている。	○	利用者、家族に十分説明を行い、理解、納得を得ていきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1F事務所前に意見、苦情箱を設置している。	○	管理者が苦情等の受け皿になっており、運営に反映させている。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回あずさ便りを家族に郵送している。又家族が面会時に本人の暮らしぶり、健康状態等を報告している。	○	あずさ便り送付、面会時、本人の現状、暮らしぶり、健康状態を話していく。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1Fに意見、苦情箱を設置している。アンケート用紙を送付し、意見、苦情、不安等を自由に書けるようにしている。又話し合いの機会をもち、運営に反映させている。	○	今後も年1回はアンケート用紙を送付して御家族の素直な意見を頂き、運営に反映させていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のカンファレンス時、スタッフから意見や提案を聞き、後必要な件、話し合いの内容を管理者に伝えている。		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	1日3名の職員を配置している。 足りない場合、1F、2Fスタッフを配置している。		
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	移動はないが産休でひとり休職にて1名新しい方が入職されましたが、昨年10月1ヶ月間実習した方なので入居者さまにダメージではなかった。	○	スタッフ間の信頼関係を作り、相手への思いやりを忘れない配慮、環境整備に努め、入居者さんが和やかな雰囲気の中でサービスを受けれるよう努めていく。

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○	研修会に参加した時、資料、レポートの提出続行し、必要時には伝達講習を取り入れているので今後も続けていく。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	○	研修、交流会には出席し、他ホームとの交流を保っていき、質、向上に努めていきたい。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている		

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族からお話をきき、今何が必要かを考え、説明等を行い、サービス支援、対応に努めている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に入居前、見学をして頂き、本人、家族が納得してから入居して頂いている。 又、他、サービスを受ける時、説明を事前に行っている。	○	今後も入居される場合、ホームを事前に見学して頂き、本人、家族が納得してから契約してく。又スタッフにも事前に説明を行っていく。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々共に生活している同士なので分からない事は聴いたり、答えたりしている。	○	スタッフは入居者さんは人生の先輩と心得ており、言葉遣い、態度には注意し、介護に当たっている。今後も共に暮らしている同士とし、又先輩である目上の方々であると理解し支援していく。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族面会時、本人の状況、報告を行い関係作り(良い)に努めている。又行事などに参加して頂き、信頼作りを行っている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の状態、現状報告を行っている。又面会回数を増やしてもらったりし、本人、家族のお話の場を作り、関係作りに努めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人、友人の面会は歓迎している。 いつも行っていた床屋さんに行ったり、学会の知人、友人が学会に連れていってくれている。 お子さん、友人、知人に手紙を書いている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	行事、レクリエーションなど、日常をとおしスタッフが間に入り、話題をなげかけたり、話を聴いたり利用者同士が関わり合えるようにしている。		

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	継続的な関わりが必要な利用者さんや御家族には、関係を断ち切らない付き合いを行っている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で、声を掛け、ききとる努力を行っている。コミュニケーションが難しい方には目の動き、表情、行動などから把握できるよう努め、家族からもお話をきいたりしている。	○ 今後も、個々の思いや、暮らし方、意向を受けとめ、又本人、家族からききとりに努めていく。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、申し込みとっしょに状況提供書、APL表により、御家族及びケアマネさんから情報を得ている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居時、本人、家族からききとりを行っている。意思の診断書もあり、心身状況の把握、週1回のバイタルチェック、状態の変化の観察、ひとりひとりの一日の過ごし方、本人の力の発揮など把握に努めている。	
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月1F、2Fそれぞれにカンファレンスを行い、又合同で1回カンファレンスを行い、スタッフ間で話し合い、意見やアイデアを取り入れて介護計画を作成している。	○ 毎月1F、2Fそれぞれにカンファレンスを行い、又合同カンファレンスを続け、個々に合った介護計画を作成していく。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	カンファレンスの場で話し合い、見直しを行っている。変化が生じた時、追加ケア及び変更を行っている。	

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	○	今後も本人、家族の希望時にはスタッフが付き添い送迎していく。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	○	民生委員、市職員、ボランティアさんとの関わりを大切にしていき、協力を得ていく。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	○	包括支援センターへの相談を行い、協力を得ていく。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	○	本人、御家族の希望を優先、大切にしてい。

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	御家族が専門医受診、送迎している。 春日居リハ病院の医師に受診し、指示や助言をもらっている。 御家族に無理な場合、送迎を行っている。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	契約看護師が週何回か来所し、声をかけたり気軽に相談している。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	電話連絡、及び必要時には出向き、状態把握に努め、早期に退院出来るよう相談している。		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、マニュアルがあり、入居時説明を行っている。又終末期のあり方について、早めに御家族、医師と話し合っている。	○	早めに御家族、医師と話し合いを継続していく。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	マニュアルがあり、出来る事、出来ない事を見極め、チームとして取り組んでいる。	○	かかりつけ医とともに急変時に備え内服薬確認、何通りかのパターンで医師の時間がある時に、スタッフとシミュレーションを行っている。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	介護サマリーにて情報交換、必要時には電話をかけている。		



事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声かけをする時には、穏やかにゆっくりとした口調で話し、本人のプライバシー、プライドにも注意し、さりげない声かけも行っている。記録の取り扱い、他者のプライバシーを話さないよう注意している。	○	ひとりひとりの誇りを尊重し、プライバシーの確保を徹底していく。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者さんの力に合わせ、声かけを行っている。本人の出来る事、している事を見極め支援している。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ひとりひとりのペースに合わせ、本人にまかせており、無理強いはいしない。	○	本人の気持ちを大切にしていく。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の希望で服を決めているが、自分から決められない方には、スタッフが出している。美容室(行きつけ)に家族が連れていったり、移動美容室送迎(スタッフ)し、利用している。		
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめるよう、献立をいっしょに考えたり、食べたい物を言ってもらい、メニューに取り入れている。入居者さんと職員でいっしょに準備、食事作りを行っている。片付けもいっしょに行っている。	○	メニュー作り、食事準備、作り、片付け等、入居者さんと協力しながら行っていく。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人が望むおやつ、飲み物を購入(自分で選び買う)。好きな時間に食べている。		

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	出来る限りトイレにての排せつを促し、トイレの声かけを行ったり、トイレ誘導を行っている。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、入浴の声かけを行っている。又拒否する事の多い人に対してはタイミングをはかり、声かけ誘導している。	○	曜日、時間帯を決めず、毎日入浴出来るように支援していく。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	ひとり、ひとりの時々状況に合わせている。午後は自室に戻り休息したり、リビングにてTVを観たり、他者と会話を楽しんだりしている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	自室の掃除、共有部分の掃除の分担も役割が決まっている。食事作り、ゴミ集め、ゴミ捨て、洗濯機を回す、干す、たたむなど出来ることを行っている。	○	張り合いのある毎日を過ごして頂けるよう、支援していく。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ホームで管理している。本人の希望があった時、おこづかい帳から出し本人に渡している。 購入後本人に記入してもらっている(出納帳) できない方は職員が出納帳に記入している。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候、本人の希望があった時、散歩に出掛けている。 買い物時、いっしょに出掛けたりしている。	○	天候のよい日、夏や午前中、冬場は日中暖かい時に散歩の声かけを行っていく。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者さんの中には、友人、家族とドライブに行ったり、食事に行ったりしている。		

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者さんが自分で公衆電話を使っている。電話希望がある場合、事務所の電話を使用し、回しているが、出来ない方はスタッフが回している。手紙も書き、投かんされている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	御家族、友人、知人の訪問は歓迎、気軽に來れる雰囲気作りを心がけている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしてはいけない事はスタッフも理解している。拘束しないケアを行っているがやむをえず行う場合、御家族に報告し、了解を得てから行っている。(文章にて了解を得る)柵1名使用中。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室ドアには鍵をかけていない。1F入口ドアはロック方式になっているが、日中解放し西側窓も開放している。時間を多く保つように努力している。	○	日中開放しておくよう努力をしていく。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は入居者さんの居場所をさりげなく確認している。又、夜間帯はラウンド毎訪室、動きのある入居者さんい対しては、ラウンド以外にも訪室している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみとカッターは必要時のみ使用しているが、以外は事務所で保管している。洗剤、包丁等は定位置で置いている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ひとり、ひとりの状態を把握し、スタッフ間で検討し、事故防止に努めている。		

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員すべてが救急法を学び、研修を受けている。又夜間の緊急時のマニュアル作成しており、急変時に備え徹底している。	○	研修会に全員参加していく。 実技等を体験し、習得していく。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	春日居リハ病院にて年2回の訓練を受けている。 ホーム内で個別に行っていない。	○	あずさ、ホームで行っていかねばいけないと思っている。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入所時、情報確認し、リスクの大きい場合家族に説明を行っている。 事故が起こった場合、すぐに連絡し説明を行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	週1回のバイタルチェックを行っている。 又、入居者さんが食欲不振、いつもと変化がある場合、バイタルチェックを行い、状況に応じ、医療受診を行っている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	入居者さんの内服薬について、内容、用法、用量を記載し、事務所に貼っており、いつでも確認出来る体制になっている。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎朝、便の確認を行いチェック表につけている。 飲食物に対しては、量と水分を多めにとるよう促し、TV体操、散歩等の声かけを行い、必要時に応じ腹部マッサージなど工夫をしている。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯みがきの声かけ等を行い、見守りを行ったり、介助したりしている。 義歯の場合もブラシにてブラッシング指導及びポリデント洗浄を行っている。		

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者さんひとりひとりに合わせた食事量、形態を考え出している。	○	今後も入居者さまひとり、ひとりに合わせた食事量、形態、水分量と栄養バランスを考えた献立作りに努めていく。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症についてのマニュアル作成をし職員が学習している。又、併設病院での感染症の研修に参加している。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	外出後、食事作り、食事前には手洗い、うがいを励行している。 衛生管理マニュアルがある。 食材には火を通し、使用している。 まな板、ふきんは毎夜ハイターをつけ、乾燥している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入口には、お花を飾ったり、お花を植えたり、野菜を植え、式を感じてもらっている。中庭にはベンチも置かれ、外に出て一休み出来るように、又、入口には長椅子を置いている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、トイレにお花を飾ったり、廊下に椅子を置いておいたりし、いつでも座ってもらえるように工夫している。	○	入居者さんがくつろげるように、環境の工夫をし、四季も感じて頂けるようにしていきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関入口、廊下、リビングに椅子をおき、手作りの絵、貼り絵など貼っている。ひとりで過ごしたり、仲間とお話しができるようにしている。		

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時、御家族、本人とお話しし、使い慣れたものを持って来てもらっている。	○	今後も本人、家族と相談しながら馴染みの物、好みの物を傍に置いて、本人が居心地よく過ごせるように努めていく。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気扇を回し、換気に気をつけている。又、朝は窓を開け空気の入れかえを心がけている。エアコンは温度に注意し、冷えすぎない、暖かすぎないように努めている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の家具の配置に気をつけ、廊下、ふろ場、トイレには手すりが設置されている。	○	入居者さんが安全に安心して暮らしていけるよう、個々の状況に合わせた対応をしていく。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来る事、出来ない事を把握し、出来る事には声かけを行い、行ってもらっている。 達成感が得られるように支援している。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	お花を植えたり、野菜を植えたりしている。出来る方には手伝って頂いている。又草とりもいっしょに行っている。		

事業所名: 医療法人 景雲会 グループホームあずさ

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	③たまにある
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	②家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/>	③家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	②数日に1回程度
		<input checked="" type="checkbox"/>	③たまに
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="checkbox"/>	①大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	②少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	③あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="checkbox"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・ 1F、2F毎のカンファレンス、月1回の合同カンファレンスを毎月行っており、入居者さまの情報状況を共有している。
- ・ 中学生、看護学生さん、生きがづくり活動のボランティアさん達に依頼し、行事に参加して頂いている。
- ・ 家族、知人、友人、又見学者さん等がいつでも来れるような体勢を作っている。